

鹿老連

発行者
鹿沼市老人クラブ連合会
〒322-0043 鹿沼市万町931-1
TEL 0289-65-5191(呼)
鹿沼市総合福祉センター内

編集者
広報部編集委員会

“黎明”一歩前へ

●力を合わせよう

10%会員増強運動

●支え合おう

生涯会員制度の拡充

●高め合おう

文字活字文化の振興



新スポーツ大会 開会式

“七夕”短冊に願いを込めて



いちご一会とちぎ国体100日前イベント



新スポーツ大会



新スポーツ大会 輪投げ団体優勝 つた未来塾



グラウンドゴルフ女性の部 優勝 日光奈良部町福寿会

「新しい生活様式」という制約の中で

鹿沼市老人クラブ連合会 会長 鈴木 康子

4月20日、TKCいちごアリーナで令和4年度定期総会を開催しました。昨年と一昨年は、感染症を危惧し、役員(25名)のみで開催しましたが、本年は、単位クラブ会長まで参加枠を拡大し、総勢85名で開催しました。提案した議事はすべて承認され、快く令和4年度のスタートを切ることができました。



令和3年度は、10%会員増強運動を中心に活動を展開しました。鹿沼市全域の自治会に協力を仰ぎ、趣旨説明を行い、第一歩を踏み出したばかりですが、少しずつ成果を上げつつあります。

会員増強は、老人クラブに課せられた喫緊の課題です。不転の決意で取り組みます。

しかし、一方では高齢や身体の不自由等により退会を余儀なくされる方が増えています。これらで、この事実を知らながら漫然と見過ごしてきました。いちばん大切な人生の最晩年を、孤立し、社会と断絶して独り寂しく過ごすことは、計り知れない苦しみかと思えます。

本会は、最晩年の孤立を防ぐため、「生涯会員制度」を設けました。すでに案内済みですが、相互扶助の観点から各単位クラブで積極的

にこの制度を推進してください。老人クラブは、「新しい生活様式」という制約の中で高齢者の認知症やフレイルの予防、次世代を担う会員の育成など課題が山積しています。

令和4年度は、人生100年時代を迎え、「生涯現役社会の実現」を念頭に過日実施したアンケートを参考にしながら単位クラブの活性化に力を注ぎます。単位クラブの活性化こそが老人クラブ全体の発展に繋がります。

会員皆様のご理解とご協力の下、楽しい魅力ある老人クラブ作りに努めます。

総務部
部長 武藤 義夫

会員増強に不断の努力を



4月20日、市長、市議会議長など8名の来賓を仰ぎ、TKC

いちごアリーナで令和4年度定期総会を開催しました。今年度は、理事に加え、参加者枠を単位クラブ

会長まで拡大して実施しました。熟議の下、すべての案件が承認され、滞りなく終了し安堵しています。

総務部員の皆様には、手際よく会場を設営、円滑な総会運営にご協力をいただき感謝に堪えません。あらためてお礼申し上げます。

会員増強運動については、会長指揮の下、理事各位のご協力により、新規に創設される老人クラブもできて着々と実績が上がっています。不断の努力、継続的な活動が良い結果に結び付くと確信しています。

5月18日に実施した交通安全クラウンドゴルフ大会のプレー終了後、警察による交通安全の講話があり、参加者の皆さんは、しっかりと聴いていただいたことと思います。車の運転、歩行時の安全確保は、直接、命にかかわることなので参加しなかった方にもお伝えください。

コロナ感染症も下火となりましたが、油断せず、注意して取り組んで行きたいと思えます。

健康増進部

部長 原野 勇

事業の円滑な運営と準備に全力を注ぐ

令和3年度は、コロナ禍の中、感染症予防対策を十分に施し、年間行事目標である3大行事をすべて遂行することができました。健康増進部員をはじめ、関係各位のご協力に衷心より感謝申し上げます。

絶好の運動日和に恵まれた5月18日(水)、市長、鹿沼警察署長などを来賓に迎え、多数の競技者が参加して黒川河川敷運動公園で本会3大行事の一つ、交通安全グラウンドゴルフ大会を実施いたしました。

大会終了後、警察署長よりオレオレ詐欺など特殊詐欺についての講話があり、交通課からは、高齢者の交通事故防止対策について話がありました。互いに犠牲者や加害者とならないよう、あらためて肝に銘じたところです。

交通安全グラウンドゴルフ大会

のあと、健康増進部員は、3大行事の第2弾として新スポーツ大会の開催について協議を重ね、準備に取組みました。7月7日(木)、好天に恵まれ、県大会の予選会を兼ねて黒川河川敷運動公園で新スポーツ大会、「輪投げ、グラウンドゴルフ、ペタンク」の3競技を盛大に実施いたしました。参加者皆様のご協力により滞りなく進行できました。感謝いたします。

今後、まだまだ事業が続きますので会員皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

創作部

部長 渡邊 雅紀

コロナ禍に屈せず皆さんの作品を展示します

創作部は、老人クラブの会員が趣味を生かし情操や感性を高めて心豊かな人生を送るため創作している作品を一堂に集め、発表する場を設けて多くの会員に鑑賞していただいています。

出品していただく作品は、書・絵画・彫刻・工芸・手芸工作・写

真・陶芸・絵手紙等の多岐にわたります。展示する会場は、年一回行われる鹿沼市高齢者フェスティバルのひとつのイベントとして展示をしています。

しかしながら、コロナ禍にあるこの2年間はフェスティバルの中止が余儀なくされ、展示できる会場がなくなっています。

このような中で、「たとえコロナ禍にあっても、鹿老連独自の展示会を開催したらどうなのか」といった会員からの意見が多く出されました。

そこで、創作部の方針として、コロナ禍に屈せず独自の展示会を11月上旬頃に開催することといたします。

会員の皆様には創作意欲をさらに高めていただき、展示会に多くの作品を出品してくださるようお願い申し上げます。

女性部

部長 福田 チエ子

女性の視点から積極的に活動を

新型コロナ感染症も下火となり

ました。5月、女性部会を開催し、今後の事業計画について協議いたしました。グラウンドゴルフ大会や輪投げ大会、料理教室などが提案され、和やかに話が弾みました。とりわけ料理教室の話は、皆さん主婦なのでいろいろな提案がなされ、教えられることが沢山ありました。

また、女性部会が一番大切なイベントとしている県老連サークル活動が、9月1日(木)、宇都宮市文化会館小ホールにおいて開催されます。鹿老連女性部は、舞踊「鹿沼ぶつつけ秋祭り」、「パドル体操」、「東京スカイツリー」、「涙そうそう」などを披露する予定です。

パドル体操は、第2・第4の金曜日、午後1時30分から午後3時まで、北押原コミュニティセンター多目的ホールで月2回練習して



います。覗いてみてはいかががでしょうか？

女性部は、これからも老人クラブ活性化のために、女性の視点から積極的に活動をしてまいります。ご支援ください。

広報部

部長 寺嶋 尚美

広報活動は老人クラブの命運を握る

高齢化が顕著となり、高齢者こそが地域の要となりました。地域の活性化は、高齢者の意欲と健康に懸っているといっても過言ではありません。

消防団員の減少、自治会員の減少、また長野県の山間の小学校ではPTAが解散するなど、これまでに重要視されてきた組織の暗いニュースが連日報じられています。立ち止まって振り返ると、かつて全盛を極めた青年団や4Hクラブなどはいつの間にか姿を消しました。その使命が終わったのでしよう。

時代は、止まることなく刻一刻と変化しています。最近では「青

春」などという言葉すら死語になりつつあります。耳にすることも目にすることもめっきり少なくなりました。諸行無常ですね。

老人クラブは、どんな道を辿るのでしょうか？ 凋落の一途を辿る老人クラブの姿は想像したくありませんが、何もせず、手を拱いていると悪夢のような事態を招きかねません。

広報部は、老人クラブの命運を握る大きな役割を担っていると常々自覚しています。10%会員増強運動に取り組む総務部、各種スポーツイベントを着実に実施する健康増進部や女性部、そして文化芸術の振興を図る創作部、これらの取り組みを老人クラブの内外に発信する重要な任務が広報部の責務であると心得ます。

鹿沼市全域に老人クラブの活動を発信し、鹿沼市民、とりわけ高齢者に関心を抱かせるような発信に努めます。広報部は、新聞を読もうキャンペーンの講演会を学びの場として文字活字文化の振興と向上心の醸成に努めます。

地区だより

東部台地区

ニコニコ笑顔で元気な会で

西茂呂北ニコニコ睦会 船木 昇

ニコニコ睦会は、平成15年に発足しました。会員は、60歳から70歳の45名で構成されてきました。

現在は、高齢化が進み、会員は男性13名、女性12名の計25名の構成となっています。年々減少の傾

向にあり、止まることなく、厳しい現実を突き付けられています。何か良い方策はないかと考えていますが、見出すことが叶いません。近年の新型コロナウイルス感染症の脅威が一日も早く終息することを願うばかりです。

奉仕活動は、年に1回、コミュニケーションセンターの除草や植木の剪定など環境整備と晩秋、道路の桜並木の落ち葉さらいを実施しています。また、昨年度からは、自治会が鹿沼市から委託を受けた公園の管理事業から撤退したので、老人クラブが代って鹿沼市からの委託を受けて引き続き公園の清掃、ごみ拾いなど公園管理を毎月実施しています。草刈りは、年3回実施しています。



コロナワクチンの接種も進み、感染者数も減少の一途を辿っています。作業後は、お茶を飲みながら雑談のひと時を過ごし、コミュニケーションを図っています。元気な表情に笑顔がこぼれます。

東部地区

さらなる活動を期待して

上野町東寿会 手塚 勝敏

我々東部地区は、上野町と府中町の2単位クラブ(東寿会とたつみ会)が集まって各種行事に参加し、また、地域においては自治会の諸行事に積極的に協力し、町内の美化や防犯、防災活動に努めています。

最近では、コロナ感染リスクを避けるため会食なしの会合やグラウンドゴルフの練習中も会話が少なく、今一つ盛り上がりが見えていません。

健康維持のため、グラウンドゴルフや輪投げなどを行い、楽しんでいきます。これからも自治会と連携を取りながら事業を進めると共に会員の増強に努めて参りたいと思います。

欠いています。昨今、感染率が低下傾向にあり、少しずつですが行動範囲を広げ、日帰り旅行やハイキング等を計画中です。

また、新たに貝島町(福寿会)の方々に参入していただきましたので、より賑わいのある活動ができることを期待したいと思います。さらに会員増に向けて皆さんで声掛けあっていきたいと思っています。

中央地区

今昔、私の町

三幸町みゆき会 木村 昭夫

三幸町は、約80年前に「鳥居跡町、蓬萊町、寺町の一部が一つ

になって出来た町」と、年寄りから聞いたことがあります。町の

真ん中を北から南に小藪川が流れています。

私が子供の頃は、周辺は田んぼや畑でした。流れる水は透き通り、川には鮒や雑魚などがたくさん泳いでいました。夏には夜になるとたくさんのが螢が飛び交い、夕涼みを楽しむことも

南押原地区

「お互い様」の気持ちで

磯町白寿会 鈴木 節也

「お〜い花植えのとききたよ」との声が賑やかな会合の中でとぶ。

恒例の自治会と一緒にやる白寿会の景観事業の一つだ。いつでもどこで、何の草花? 広さは等話し合われる。広い土地を白寿会が受け持っている。コロナ禍で外出できる時間が制限される中、花植えは、みんなが他愛もない話に花を咲かせながら体を動かせる大変貴重な時間だ。更に、終了後、草むしりはいつにする、水やりは、花の名称、花言葉等お菓子を頬張りながら話

きました。今になると懐かしい思い出です。

昔は自然豊かな町でしたが、近年、住宅が立ち並びその面影を見ることができません。昔も今も変わらない「人情味豊かな町」、三幸町です。今後ともご指導ご協力をお願いいたします。



をするのも至福の時間だ。

磯町白寿会は年々会員の高齢化が進み、それに見合った活動の在り方が課題となっている。白寿会独自で活動することも大切ではあるが、自治会活動の中心ではあるが、自治会活動の中には招待者として共に「お互い様」と言える活動をするのが大切である。現に行っており、地域の人達との交流は言葉にならない程の充実感を味わうものである。自治会では我々のためにグラウンドゴルフ場を造ってくれ、道路脇に健康花壇をつくり、また、カタクリ園と共に管理をまかせてくれる。避難訓練や夏まつりではスタッフの一員だ。

主体性をもって活動している「ほっとサロン」や「元気アップ体操」等の目的達成の喜びばかりでなく、地域ぐるみで取り組む多行事に参加することで得られる満足感、充実感も元気の源となっている。

南摩地区

残しておきたい伝統行事

南摩老連広報部 荻原 唯夫

私たち南摩地区老人クラブ連合会(以下、南老連)では毎年七夕祭りとお月見会を通して保育園児たちとの交流会を催しています。しかし、この二、三年は新型コロナウイルスの影響で略式の交流となり、大変残念に思っております。

通常は、南老連7単位クラブの内、油田、佐目、下南摩で1グループ、西沢一区、西沢二区、上南摩、旭が丘で1グループを形成し、



2グループが1年交代で七夕祭り、及びお月見会を担当します。交流会では、七夕飾りをいっしょに作ったり、わら鉄砲づくりの実演会を催したりして午前中を過ぎ、お昼には、園児と共においしい給食をいただきます。

七夕飾りやお月見会のわら鉄砲

清洲地区

老人クラブに入会して

久野長榮会 渡邊 美子

私たち久野長榮会は、現在27名の会員で活動しています。私が老人クラブに入会するのはまだ先のことと思っておりましたが、5年前発足した地元の高齢者サロンが入会のきっかけとなりました。

地元のお年寄りの方々とお話をしたり、一緒に歌やゲームなどをして月1回の楽しみを持ちました。それから2年後、老人クラブへの入会のお話があり、私が少しでも

作りも、伝統を継承し、豊かな感性を育むためには欠かせない行事ですが、時代の流れとともに、中止や簡略化を余儀なくされつつあります。こうした傾向の中にあつて、流れに逆らいつつ、古き良き行事と率先して守り抜き、次代を担う子供たちに伝えていく努力をするところ、我々老人クラブのメンバーに課せられた大切な使命なのではないでしょうか。

皆さんのお役に立つことができればと思いい入会しました。

しかし、コロナ禍のため、何の行事も中止となり、老人クラブの活動のお話を聞くのみでした。幸い、グラウンドゴルフの活動があり、少しでも健康維持になれば仲間に入れてもらいました。皆さんと和気あいあいの練習や技術的なことを教えてもらったりと、練習日が来るのを楽しみにしている

ところで。

今年度は、コロナも少しずつ収束に向かっけてきているようなので、老人クラブの活動が楽しみになり

ます。入会してまだ3年ですが、たくさん仲間と共に健康に気を付けて活動していきたいと考えております。

永野地区

老人クラブは知恵袋

山口山美会 会長 荒井 勝美



山口山美会は、今年で10年を迎えました。山美会の活動は、「山を美しく」を合言葉に年2回の草刈りを実施しています。また、環境美化の活動として道路の清掃や会員の親睦の一環として研修旅行を実施しています。

令和3年度から永野老人クラブ連絡協議会の会長に就任しました。就いて一番初めに思ったことは、高齢化をどのように迎えるかでした。切実な問題です。クラブの多くの先輩と話し合い、多くの仲間づくりや「子や孫たちと一生を」を考え行動しています。

そうした中、永老連では、令和3年度より生涯会員制度を導入、道八山美会では6名の会員が誕生しました。

令和4年度は、健康増進の一環として、永野地区福祉活動推進協議会の輪投げ大会への参加を計画しています。

永野地区コミュニティ推進協議会のグラウンドゴルフ大会にも参加を予定しています。

書籍紹介

●事務局 福田由紀子



「買うな！使うな！」

―身近に潜むアブナイものPART1―
共栄書房、四六判税込1650円

著者 船瀬俊介(ふなせ しゅんすけ)1950年生まれ
福岡県生まれ。ジャーナリスト、評論家、九州大学理学部を経て早稲田大学文学部社会学科卒業。評論講演活動を行う。主なテーマは「食・食・住」
著書「アメリカ食は早死にする」、「和食の底力」、「笑いの免疫学」他、著書300冊余。

【書評】
表と裏があるように、上下、左右があるように、視点を変えて対極を見ると新しい世界が見えてきます。あなたの常識、大丈夫ですか？この書籍があなたの常識を破る一助となるかもしれません。テレビでは言えない、新聞では報道できないことが沢山あります。きっと、目新しい発見があることでしょう。

スポーツ大会成績表

第16回交通安全グラウンドゴルフ大会

令和4年5月18日

- 優勝(市長杯) 南摩 大嶋 民子
- 準優勝(議長杯) 東部台 原島 靖征
- 第3位(警察署長杯) 北部 高村 昭子

新スポーツ大会

令和4年7月7日

- 輪投げ個人の部
 - 優勝 北犬飼 山崎 利雄
 - 準優勝 北犬飼 小杉 国市
 - 第3位 北犬飼 小林菊二郎
- 輪投げ団体の部
 - 優勝 北犬飼 つだ未来塾A
 - 準優勝 南押原 つだ未来塾B
 - 第3位 北犬飼 つだ未来塾B

グラウンドゴルフ男性個人の部

- 優勝 南摩 小太刀敏雄
- 準優勝 東部台 大出 昭一
- 第3位 北押原 岩下 邦彦
- グラウンドゴルフ女性個人の部
 - 優勝 北押原 鈴木 康子
 - 準優勝 粟野 石原みつよ
 - 第3位 北押原 岩下 浪子

グラウンドゴルフ団体の部

- 優勝 北押原 日光奈良部町福寿会
- 準優勝 南摩 西沢二区長寿会
- 第3位 清洲 深程スマイル会

レディースグラウンドゴルフ大会

令和4年7月19日

- 優勝 北押原 鈴木 康子
- 準優勝 北押原 鈴木 静子
- 第3位 南摩 上崎 ヒデ

鹿沼の歴史こぼれ話 第3回
鹿沼史談会 福田 純一
鹿沼に伝わる義経伝説

NHKで放映中の大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」は、源平合戦から鎌倉初期が舞台ですが、この時代の人物で特に人氣が高いのは源義経でしょう。そのため、義経に関する伝説が各地に残されており、鹿沼市域に史跡があります。

一つは北赤塚町の「判官塚古墳」です。「判官」は義経の別称で、東北に落ち延びる途中にこの古墳の石室に身を隠したという伝説から、この名前が付いたとされています。

実際の判官塚古墳は古墳時代後期の前方後円墳で、墳丘の長さ約61m、後円部の高さ約5mで、市の指定史跡になっています。横穴式石室がありますが、現在は崩れて入ることはできません。

もう一つは、横山町の東武日光線踏切脇の「伝・金売吉次の墓」です。金売吉次は、平安時代末期に奥州の金を京の都に売っていた伝説的な商人で、義経が奥州に向かう手助けをしたと言われています。横山の「墓」は一部を欠いた五輪塔ですが、残念ながらこれが吉次の墓という証拠はありません。

実は、壬生町上稲葉にも「吉次の墓」と伝えられる史跡があります。こちらは江戸時代に俳聖松尾芭蕉が立ち寄ったことが「奥の細道」に記録されています。



◆俳句◆

遠き日のガード下にはバナナ売り 東部台東町あづま会 西山 弓子
筋通す昭和一桁花菖蒲

ほろにがき菜午後より夏嵐 東部台東町あづま会 神山 遊
草萌えて一病またも殖したり 東部台東町あづま会 神山 とよ

句作りに目覚め蠟梅八十路かな 北部元気会 寺内 光子
―會孫誕生に寄せて―

早春の陽りを浴びて乳房ふくむ 戸張町元気会 柿沼しげ子
オムツ替え新前パパがきこちなく

◆短歌◆

コロナ禍で施設入所の兄思う二年目の夏妹白髪増え 東部台東町あづま会 松永 治子

高齢期元気に暮らせる喜びは仲間とつながる老人クラブ 栗野福徳会 鈴木 清樹

広い風呂コロナ禍沐浴娘と二人ホカホカの身に沁み入る幸福 北部元気会 寺内 光子

◆川柳◆

マスク好き年齢をかくすはホーレイ線東部台東町あづま会 松永 治子
脳体はついていけぬが口減らず 東部台東町あづま会 松永 教江

― エールを送る ―

本年開催の「いちご一会とちぎ国体」では、総務部長の武藤義夫さんと監事の大貫輝夫さんがゲートボールの公式審判員を務めます。二人は、共にゲートボール一級審判員の有資格者です。9月3日・4日の両日、那珂川町で行われるゲートボールの試合で審判員として参加することになりました。しっかり任務を全うし、責務を果たしていただきたいと思えます。鹿老連よりエールを送ります。体調に留意して、ご活躍を...

編集後記

―老人クラブは、第2の黎明期―
老人クラブは、今、第2の黎明期を迎えています。

世の中は、常に変化しています。世の中が「常に変化」していることを誰もが知っています。しかし、どうでしょう。その変化に氣付き、対応できる人はいるのでしょうか。なかなか居りません。それどころか氣付かず漫然と見過ごし、対応が遅れてしまうのが現実です。

氣付いたときは「結果」が出ています。その結果は、多くの場合、好ましくない結果です。何とかしようと思っても苦慮しますが、一筋縄では行かなくなりそうです。

老人クラブの草創期から60有余年の歳月を経た今は、いかがでしょうか。残念ながら勢いを失い、衰退の一途を辿っています。音もなく流れゆく時間の中で、世の中の変化に氣付かず、漫然と見過ごして来た結果です。

老人クラブは生き物です。不断の努力を怠れば、死んでしまいます。少子高齢化、一億総活躍社会、コロナ感染症、よどみなく変化する社会情勢をどのように捉え、どのように対応すべきか？ 氣付いて警鐘を鳴らす人もいますが、対岸の火事と聞き流してしまいます。

老人クラブは、今、改革できるか否かの力量を問われています。鹿老連は、今を第2の黎明期と心得、10%会員増強運動を中心に、未来を見据えて、氣付いたことを一つ一つ行動に移し、活力ある老人クラブの再生に取り組んでいます。(広報部 寺崎尚美)